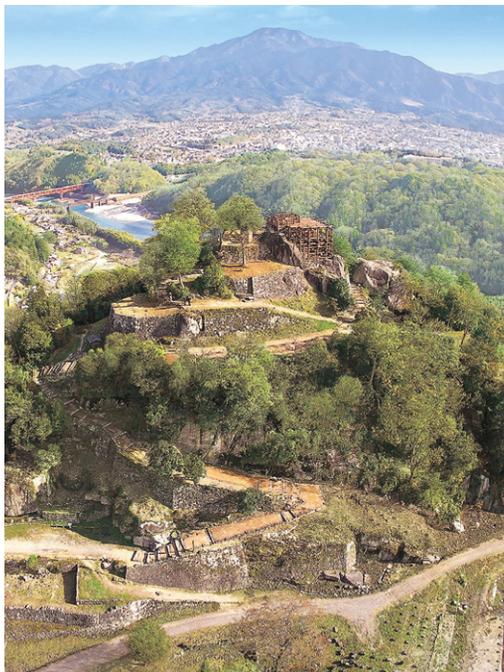




岐阜県中津川市苗木にあり、木曾川右岸四百三十二メートルの高所に築かれた苗木城跡（国指定史跡）を紹介します。

この城跡は、平成二十九年に「日本の城ベストランキング200」の専門誌において第二十九位、「絶景！山城ベスト10」では堂々の第一位にランクインし、昨年の十一月に



苗木城跡の全景

は、月間として過去最多の一万三千六百二十人の来場者数を記録しました。

苗木城は江戸時代の苗木藩の藩庁が置かれていた城です。築城は南北朝時代初めとも、戦国時代ともいわれています。往時は、壁の色から赤壁城とも呼ばれ、約一万石の小藩の城ながら山頂には三層の天守があつたといわれています。

城跡に現在、建物は残っていませんが、天守台、石垣、堀、曲輪などの遺構が残っています。特に自然の巨石を利用し取り込んだ石垣が見事で最大の特徴となっています。これは、敷地の確保が困難な状況にあつたため、建物の建築方法に懸

造り（崖や池などの上に建物を長い柱と貫で固定し、床下を支える建築方法）が使われているもので、自然の地形を最大限に利用した山城となっています。

山頂の巨石の上には天守展望台が

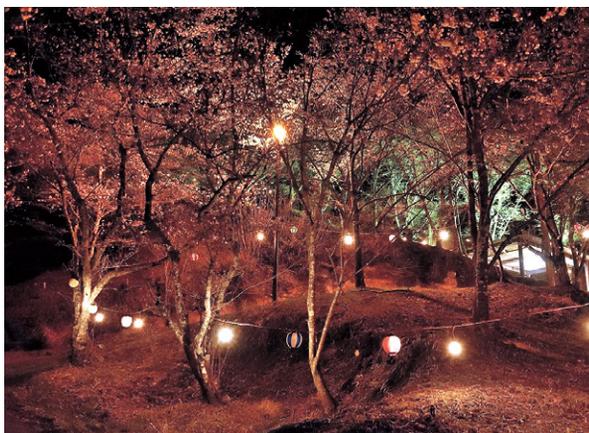


展望台からの絶景

ありますが、実際にあつた穴を利用し、当時の構造を再現したものです。展望台の眼下には木曾川が流れ、中津川市内と恵那山の眺めはまさに絶景です。

城跡から十分ほど歩くと「苗木さくら公園」があります。四月上旬に開催されるさくら祭りでは、ライトアップが行われ幻想的な雰囲気を楽しんだら夜桜を散策できます。寒暖差のある秋から冬にかけては、早朝に雲海が広がる雄大な景色が望めることもあります。また、苗木城の入り口には中世から明治初期に至る歴史的文化遺産を保存・

公開している苗木遠山史料館がありますので、こちらもお立ち寄りください。



苗木さくら公園の幻想的な夜桜

※写真は中津川市提供



◆アクセス
中央道中津川ICから車で二十分